

全学モジュール科目案内

テーマ名	14-B1 心身の健康と生命		
テーマ責任者	安武 亨	責任部局	医歯薬(医学系)
対象学部	工学部・環境科学部		
趣旨	<p>人の生活において、心と身体の健康は言うまでもなく大切なことです。また、生命の尊さを再認識することも豊かな人生を送るために必要なことです。</p> <p>それらを学ぶための基礎として、まず、モジュール I では生命現象の基本的事項を学びます。分子レベルで覗く細胞の形とはたらき、不思議な人体の構造と機能、気に入った方がいい食と栄養。こういった世界へ皆さんをいざないます。</p> <p>それらを基本にモジュール II では生命や心身の健康に関連した事柄を学びます。生命の誕生と性、そして老化と死に対し真摯に、楽しく向き合ってみます。あるいは脳の活動、脳科学と社会行動について考えてみます。また、健康を再認識しながら、スポーツを科学的側面より捉えてみます。あるいは、人のライフサイクルと心の関係についても認識します。これらのことを各自の関心に従って選択できます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命現象を人体の構造と機能の面から説明できる。科目 I a「人体の構造と機能」</li> <li>・健康保持・増進のための栄養の大切さを説明できる。科目 I b「栄養とは何か」</li> <li>・細胞の構造および機能を分子レベルで説明できる。科目 I c「遺伝子と生命」</li> <li>・生命の基本的知識を基に心身の健康と生命の尊さを理解し、人生を意義深いものとすることができる。科目 II a～e</li> <li>・教養教育の全体目標を理解し、各科目の履修を通じて関連目標の達成をめざす。</li> <li>・以上を通じて、物事を多面的に捉え、考え方の多様性を理解し、知識はもとより、発想性、創造性を身につける。</li> </ul>		
学生の皆さんへのメッセージ	心や身体の健康、生命、性に関心のある方、不思議な生命の世界、人間に興味がある方を歓迎します。基本的な講義も行いますが、学生同士が協働して学びあうことも重視しています。協調性に富み、好奇心豊かで、発想性・創造性を伸ばしたい人を求めます。		

	科目名	担当者名	概要	キーワード
モジュール I	(Ia) 人体の構造と機能	医歯薬(医学系) 辻 幸臣 蒔田 直昌 佐伯 和信 石川 泰輔	人体の構造は機能を支え、機能は構造に影響し、互いに深い関連がある。構造(解剖学)と機能(生理学)を学ぶことによって、人体で営まれている精妙な生命現象を理解する。	人体の構造、生命維持・調節・運動システム、生理学、解剖学
	(Ib) 栄養とは何か	医歯薬(医学系) 青柳 潔 安部 恵代 高島 美和 篠崎 彰子	個体内の栄養素の役割と社会的な栄養・食の状況を学ぶことにより、健康保持・増進のための栄養の大切さを理解する。	栄養・食事健康生活習慣
	(Ic) 遺伝子と生命	医歯薬(医学系) 吉浦 孝一郎 木下 晃 井原 誠 浦田 芳重	DNA や遺伝子について講義する。遺伝子をはたらくことによって達成されるタンパク質や脂質、糖質の役割にもふれ、最終的には、生物を形作る基本単位である細胞を構造および機能を分子レベルで理解する。発展的なモジュール受講のための基礎となる基本事項の習得をめざす。	基礎的知識 多様性の意義 遺伝子
モジュール II	(II a) スポーツ医学	医歯薬(医学系) 安武 亨 宮本 力 篠崎 彰子 鎌田 幸治	スポーツを科学的に学ぶことにより、健康の大切さを理解し、健康増進やスポーツパフォーマンスの向上に役立てることができる。	スポーツ、トレーニング、栄養、スポーツ障害

(II b) きずなの脳科学	医歯薬(医学系) 有賀 純 篠原一之 土居 裕和 木原 敏晴	ヒトに限らず多くの動物では社会行動が見られる。脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学ぶ。	脳、社会行動、性分化、コミュニケーション、神経回路、遺伝子
(II c) ライフサイクルとメンタルヘルス	医歯薬(医学系) 小澤 寛樹 今村 明 黒滝 直弘 木下 裕久	現代社会において自分を取り巻くライフサイクルとメンタルヘルスの実状を把握し、経済活動や生活等に役立つ知識習得を目標とする。	メンタルヘルステラシー・レジリエンス・EAP・リスクマネジメント
(II d) 性と命(いのち)	医歯薬(医学系) 三浦 清徳 井上 統夫 増崎 雅子 吉田 敦	生命の発生から終わりまで(受精から更年期、さらに死亡するまで)を性(Sex および Gender を含む)との関連で楽しく学ぶことを目的とする。	生命の発生、受精、性、更年期、死
(II e) 老化と死	医歯薬(医学系) 池松 和哉 前田 隆浩 田崎 修 益富 美津代	ヒトの死や死に至る過程の多様性、多面性を考えるための素材を講義する。学生は、老化や死について考え、議論する。最終的には自身の考えをレポートとして表現する。	老化、死

全学モジュールの目標キーワード、および授業編成の視点との対応	技能・表現						知識・理解			態度・志向性				※授業編成の視点			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	A	B	C	D
	自主的探究	批判的思考	自己表現	行動力	日本語コミュニケーション力	英語コミュニケーション力	基盤的知識	環境の意義	多様性の意義	社会貢献意欲	学問を尊敬する態度	自己成長志向	相互啓発志向	哲学的な切り口	歴史・略史を扱う	現代的な話題を取り入れる	アクティブラーニングの活用
(I a)人体の構造と機能	○	○	○				◎	○	○		○	○					
(I b)栄養とは何か	◎	○	○				◎	○	○		○	○				○	○
(I c)遺伝子と生命	◎	○					◎	○	◎		◎						
(II a)スポーツ医学	◎	○	○	○					○		○	○	○			○	◎
(II b)きずなの脳科学	◎	○	○				○	◎	◎	○	○	○	○			◎	○
(II c)ライフサイクルとメンタルヘルス	◎	○	◎	○	◎	○	○		○	○	○	○	◎	○	○	◎	◎
(II d)性と命(いのち)	○	○	○		○				○		◎	○	○				
(II e)老化と死	○	○	○						◎	○	○		○			◎	○
◎(特に重視)の数	5	0	1	0	1	0	3	1	3	0	2	0	1	0	0	3	2
○(重視)の数	3	8	6	2	1	1	2	3	5	3	6	6	4	1	1	2	3

※工学部・水産学部に  
係る JABEE 項目